

令和6年9月

## ■一般文学

「烏は主を選ばない」

・著:阿部 智里

・出版者:文藝春秋

山内という異界を舞台にした和風ファンタジーの第2作目。人間に転身できる八咫烏という一族の頂点に立つのは、兄宮か弟宮か？

「うつけ」として名高い弟宮に、いやいやながら仕えることになったぼんくら少年の雪哉。弟宮はなぜ、「うつけ」と呼ばれる振る舞いをするのか？ 朝廷の権力争いや暗殺に巻き込まれた雪哉が目にする真実とは？

コミックにもなり、アニメ化もされた大人気シリーズを、ぜひ原作でお楽しみください。

(対象 一般)

## ■一般書

「住まいかた解剖図鑑 ～センス光る暮らしの秘訣がマルわかり～」

・絵と文:大島 健二

・出版者:エクスナレッジ

日常。今までとは少し変わってきた地球環境。コロナ後に人気になったおうちキャンプ。毎日続く人の生活にも、いろいろな変化が必要になってきました。自分なりのわがままな住まいかたの提案が、豊富に盛り込まれた1冊です。

一級建築士である著者の丁寧な絵により、目で見てすぐにわかるように描き出しています。片付け・おもてなし・家事ラクから、人生最後の特等席となるお部屋まで、参考になる『住まいかた』を見る事ができます。

おうちでの快適なすまいかたを、この機会に研究するのも良いのではないのでしょうか。

(対象 一般)

## ■児童書

「12歳までに身につけたい科学の超きほん」

・監修:左巻 健男

・出版者:朝日新聞出版

「科学」と聞いて、科学者が研究する難しい学問だと思いませんか？

この本を読むと、私たちがいつも見ていたり、使ったり、触れたりしている身近なことが「科学」だとわかります。妖精「パワー」と「エネルギー」が科学の星からやってくるマンガで始まるこの本は、科学の“超きほん” 生物の世界から、力と道具やバイオテクノロジーまで幅広い分野を、わかりやすいイラスト、写真などをつかって説明しています。

この本で科学のふしぎをワクワクに変えてみましょう！

(対象 小学中学年から)

## ■絵本

「みえるとかみえないとか」

・さく:ヨシタケ シンスケ

・そうだん:伊藤 亜紗

・出版者:アリス館

色々なほしを調査する宇宙飛行士。ある時、後ろにも目がある人たちを見つけました。前も 後ろも一度に見えるため、後ろが見えないというぼくに対し、「ふべん」「かわいそう」と いった言葉を投げま

した。いろいろ調べていくうち、生まれつき全部の目が見えない人と出会いました。彼は、「みえないからできないこと」はたくさんあるけど、「みえないからこそ できること」もたくさんあるということに気づきます。

みえる、みえないというだけでなく、この世界はその人にしかわからない、その人だけの見え方や感じ方があります。子どもだけでなく、大人が読んでも「ちがい」について考えさせられる一冊です。

(対象 4 歳から)